

論説・解説

## <座談会>

### 知的財産実務にみる国際裁判管轄……………4

弁護士 大野 聖二

九州大学准教授 小島 立

弁護士 末吉 亙

知的財産高等裁判所判事 高部真規子

元知的財産高等裁判所判事・弁護士 三村 量一

弁護士 村田 真一 (司会)

### 図書資料の電子化と関連する 諸問題……………27

国立国会図書館長 長尾 真

### デジタルデバイスのための出 版物のライセンスの法的な特 徴と留意点……………34

九州大学教授・弁護士 寺本 振透

弁護士 川本 周

### 特許明細書等の補正・訂正制 度の変遷と課題 (上)……………43

京都大学教授 松田 一弘

### 改正土壤汚染対策法の施行……………54

環境省水・大気環境局土壤環境課長 笠井 俊彦

〔判例研究〕

### 観音仏頭部のすげ替えと著作者死 亡後の人格的利益——駒込大観音 事件……………63

神戸大学教授 島並 良

## 重要判例解説

- ・ 1 インターネットの個人利用者による名誉毀損と摘示事実を真実と誤信したことについての相当の理由
- 2 インターネットの個人利用者による名誉毀損行為につき、摘示事実を真実と誤信したことについて相当の理由がないとされた事例（最一小決平22・3・15）

／70

前最高裁判所調査官 家合 和典

## 最新判例紹介 (年月日索引・74)

● 高等裁判所 22件(知財高判平22・1・13～知財高判平22・4・27) ……………75

▼ 地方裁判所 34件(大阪地判平21・12・10～東京地判平22・4・28) ……………89

■ 現代社会における情報をめぐる裁判例【36】 ……………113

中央大学法科大学院教授・弁護士 升田 純

★ 日本弁護士連合会の「特許庁特許制度研究会報告書『特許制度に関する論点整理について』に関する中間意見書」の概要報告 ……………117

日本弁護士連合会知的財産センター委員長・弁護士 飯田 秀郷

■ ◆ 税関による知的財産侵害物品の差止状況（平成21年） ……………119  
～さらに強まる中国来貨物への一極化～／

財務省関税局業務課知的財産専門官 水谷 浩隆

行政 経済産業省〔無形資産価値の把握とロイヤルティ料率情報の整備〕 ……………123

政 農林水産省〔新たな農林水産省知的財産戦略の策定〕 ……………124

情 総務省〔通信・放送の総合的な法体系のあり方——放送法等の一部を改正する法律案の概要——〕 ……………125

報 知的財産戦略本部情報  
〔「知的財産推進計画2010」の決定〕 ……………128

## 〈総合科学技術会議報告〉

「ヒト ES 細胞の使用に関する指針」および「ヒト ES 細胞の樹立及び分配に関する指針」の改正に関する諮問に対する答申／内閣府 ……127

## 法律実務のための知的財産法講義34

プログラム著作物 弁護士 小川 憲久・130

## 特許侵害訴訟の論点・争点36

特許庁のこと 弁護士 村林 隆一・135

研究室ノート／「無料でなければ利用しなかった」場合の損害額  
明治大学専任講師 金子 敏哉・136